



9	8	7	6	5	4	3	2	1
はんたいのいみのことば①	<b>たしかめ もんだい ①</b>	音やようすを	あらわすことば①	なかまのことば②	なかまのことば①	かたかなのことば②	かたかなのことば①	一年生のふくしゅう
18	16	14	12	10	8	6	4	2

おうちの方へ

◎言葉の知識やきまりを学習するドリルです。文や文章の中で使いこなす力がつくように、さまざまな設問を掲載しています。

◎本書は、文部科学省「学習指導要領」に基づいた編集です。

◎一般的な教育用の漢字書体を使用しております。細かな字形について、ご使用の教科書と異なる場合がありますので、ご了承ください。

◎教科書によって、学習していない漢字や項目があります。

表紙イラスト/Kろこ



34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10		
まとめのテスト②	<b>まとめのテスト ①</b>	<b>たしかめ もんだい ⑤</b>	おくりがな	同じ読み方のかん字②	同じ読み方のかん字①	組み合わせたりたつかん字	組み合わせたりたつかん字	同じぶんをもつかん字	かん字のなりたち	<b>たしかめ もんだい ④</b>	いろいろな言い方	文をつなぐことば②	文をつなぐことば①	「」のつかい方②	まる(○)てん(●)かぎ	「」のつかい方①	「」のつかい方①	くわしくすることば	文の組み立て③	文の組み立て②	文の組み立て①	<b>たしかめ もんだい ②</b>	組み合わせたことば②	組み合わせたことば①	にたいのいみのことば	はんたいのいみのことば②
72	69	66	64	62	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	

答え・とく点ひょう



# 1 一年生の ふくしゅう



月  
日

点

1 上の 絵えに 合うあうように、□に かたかなを 書かきましよう。

一つ5点

1 いるか



2 ペン



Blank writing box with a dashed midline.

Blank writing box with a dashed midline.

3 ばたあ



4 ばす



Blank writing box with a dashed midline.

Blank writing box with a dashed midline.

5 けちやつぶ



Blank writing box with a dashed midline.

2 ( ) に 合う 数かぞえる ことばを、ひらがなで 書かきましよう。  
一つ6点

1 牛うしが 二 ( ) 。

2 魚さかなが 四 ( ) 。

3 友ともだちが 三 ( ) 。

4 車くるまが 五 ( ) 。

5 えんぴつが 六 ( ) 。



**3** つぎの なかまの ことばを、 から すべて えらん  
で 書きましよう。

①~③ それぞれ 5点

① 楽がっき

( )

( )

② どうぶつ

( )

( )

③ くだもの

( )

( )

ピアノ・うさぎ・ライオン・シンバル  
パイナップル・りんご・ギター  
バナナ・ぞう



**4** はんたいの いみの ことばを 書きましよう。 一つ5点

① 多おほい

⇕

( )

② 大きい

⇕

( )

③ 右

⇕

( )

④ すてる

⇕

( )

⑤ とまる

⇕

( )

⑥ 入る

⇕

( )



**3** は、同じ なかまの ことばが 三つずつ あるよ。

## 2

## かたかなのことば①



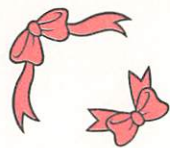
月
日

点
---

1 外国がいこくから来たきたことばを、かたかなで

書かきましょう。

一つ5点



リボン



てれび



けえき



ばつと



ちよこれえと

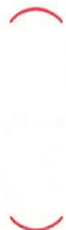


2 いろいろなもの、音を、かたかなで

書かきましょう。一つ6点



めえめえ



わんわん



みんな



つるつる



ぎあぎあ



ぴかぴか



3 ( ) に 合う かたかなの ことばを、  
で、書きましょう。

一つ6点

1 馬が ( ) と 鳴いた。

2 かみなりが ( ) と 鳴った。

3 ドアを ( ) と たたく。

ゴロゴロ・トントン・ヒヒーン



4 それぞれ まちがって いる かたかな 二つに — を  
引いて、右に 正しく 書き直しましょう。

①②③ それぞれ7点

1 トフォンペットと ビアノの えんそう。

2 テューリップと ユスモスを うえる。



3 ライオソの おりの 前で カヌラを かまえる。



3 の ①は 馬の 鳴き声、②は かみなりの 音、③は ドアを  
たたく ときの 音を あらわす ことばだよ。

3

# かたかなの ことば ②



月  
日

点

1 ①〜④の かたかなで 書く ことばを、 から えら  
んで、 ( ) に 書きましよう。

①〜④ それぞれ 10 点

① どうぶつの 鳴き声。

② いろいろな ものの 音。

③ 外国の、 国や 土地の 名前、 人の 名前。

④ 外国から 来た ことば。



①〜④は、それぞれ  
三つ あるよ。



バシャバシャ・カアカア・エジソン・ジュース  
モーモー・ゴソゴソ・テレビ・ケロケロ  
シャワー・パリ・ドンドン・スイス

2

かたかなで 書いた ほうが よい ことばを 一つずつ  
見つけて、かたかなで 書きましょう。

①～④ それぞれ 8点

1

へやの かあてんは、うすい ぴんくだ。

2

きやべつを ばりばりと ちぎって 食べる。

3

母の たんじょう日の ぶれぜんとに、  
まふらあを あげた。

4

ばれんたいんの 日に、父に  
ちよこれえとを わたす。



3

つぎの ことばを つかって、みじかい 文を 書きましょ  
う。

一つ 14点

1

ビュービュー

2

ボタン



3 の ①は、風が ぶく ようす、②は、とが しまる ようすや  
何が たおれる ようすを あらわす ことばだよ。



3

しょう。  
に 合う ことばを、 から えらんで 書きま  
一つ6点

生きもの

鳥とり

2

4

3

バッタ

1

ペリカン



食べもの

おかず

6

8

7

クッキー

コロッケ

5



おかし・トンボ・すずめ・せんべい・テントウムシ・  
キャンデー・ハンバーグ・こん虫

答え..72ページ



# なかまの ことば ②



月  
日

点

1 つぎの ことばを、まとめ方かたの 大きい じゅんに なら  
べかえましょう。

《れい》食たべもの・コロッケ・おかず  
(食たべもの↓おかず↓コロッケ)

1 のりもの・ボート・船ふね



2 犬・チワワ・どうぶつ



①② それぞれ7点

2 つぎの ことばを つかって、絵えに 合あう 文ぶんを 作りま  
しょう。 一つ8点

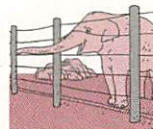
1 小さい



2 高いたか



3 長いなが



4 はやい



3 ( ) に 合う ことばを、  
 ( ) から えらんで 書きま  
 しょう。  
 一つ6点

1 ジュースを ごくごくど ( ) ( )

2 おちて いる ごみを ( ) ( )

3 鳥が 二わ、空を ( ) ( )

4 学校まで、十分間 ( ) ( )



ある  
 歩く・とぶ・ひろう・のむ・知る

4 つぎの ことばを つかって、絵に 合う 文を 作りま  
 しょう。  
 一つ10点

1 たたく

2 ぬる

3 およぐ



3 は、みじかさを あらわす ことばだ。  
 4 は、うしろを あらわす ことばだよ。





音や ようすを  
あらわす ことば ①



月  
日

点

1 文に 合う ことばを えらんで、( ) に ○ を 書きま  
しょう。 一つ6点

1 犬が  
ワンワン  
ニャーニャー  
鳴く。



2 紙が  
トロリ  
パラリ  
と めくれる。



3 ビンが  
ガチャン  
チャリン  
と われる。

2 ( ) に 合う ことばを、 から えらんで 書きま  
しょう。 一つ7点

1 川に 石が ( ) と おちる。

2 小鳥が 来て、 ( ) と 鳴いた。

3 自てん車が ( ) と とまる。

4 まどを ぬので ( ) と ふく。

チュンチュン・キュツキュツ・ボチャン・キキーツ

3 上のことばと下のことばを——でつないで、正しい文を作りましょう。

一つ6点

1 ひよこが ・ ブンブン とぶ。

2 ハチが ・ ザーザー ふる。



3 雨が ・ ケロケロ 鳴く。



4 カエルが ・ ピヨピヨ 鳴く。

4 つぎのことばが あらわす音や ようすを 下から

えらんで、——で つなぎましょう。

一つ6点

1 ピョンピョン ・ せきをする 音。

2 ピチヨン ・ ホームランを うつ 音。

3 カキーン ・ さらを あらう 音。



4 コンコン ・ 水てきが おちる 音。

5 ガチャガチャ ・ カエルが はねる ようす。



4 は、どんなものの音や ようすを あらわすことばかな。



音や ようすを  
あらわす ことば ②



月  
日

点

1 文に 合う ようすを あらわす ことばを えらんで、  
（ ）に ○を 書きましよう。  
一つ6点

1 車が  
すべすべ  
のろのろ  
と  
すすむ。



2 たいようが  
きらきら  
ぎらぎら  
と  
てりつける。



3 シチューを  
ことごと  
きらきら  
と  
にる。

2 （ ）に 合う ことばを、 から えらんで 書きま  
しょう。  
一つ8点

1 （ ）と 太った 犬。

2 赤ちゃんが （ ）と ねむる。

3 けむりが （ ）と 出て きた。

4 （ ）と わた毛が とぶ。



すやすや・まるまる・ふわふわ・もくもく





# 8 たしかめ

## もんだい

①



月
日

点
---

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

ぼすとの 中に、エジラトに すむ おじさんから とどいた 手紙が入って いた。ぼくは、アイヌクリームを 食べながら、その 手紙を 読んだ。  
 一か月後、しごとで いぎりすへ 行くそうだ。



1 文の 中に、かたかなに した ほうが よい ことばが 二つ あります。かたかなに 直して 書きましょう。 一つ 8点

2 文の 中に かたかなの まちがいが 二つ あります。正しい ことばに 直して 書きましょう。 一つ 8点

3 つぎの うち、文の 中に ない ものを 二つ えらんで 記号で 書きましょう。 ぜんぶできて 10点

ア どうぶつの 鳴き声。 ( ) ( ) ( )

イ いろいろな ものの 音。

ウ 外国の、国や 土地、または 人の 名前。

エ 外国から 来た ことば。

2 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

すやすや ねて いた 赤ちゃんが きゆうに  
おき上がると、ア よちよち 歩き出した。そして、  
イドスンと すわり、にわの 木を 見上げて  
目を きらきら させた。そこには、  
大きな 鳥が とまって いた。



1 赤ちゃんが ねて いる ようすを あらわす ことば  
を、ぬき出しましょう。

8点

2 ア・イの ことばは、どんな ようすを あらわして  
いますか。

10点

ア よちよち  
イドスン

3 〓の 赤ちゃんの ようすから、どのような ことが  
わかりますか。合う ものに ○を 書きましょう。

10点

ア かなしがって いる ようす。

イ おもしろがって いる ようす。

ウ おこって いる ようす。



# はんたいの いみの ことば①



月  
日

点

1 つぎの  の ことばと はんたいの いみの ことば  
を、  から えらんで 書きましよう。 一つ6点

1 ( ) 大きい 家。  
2 ( ) せまい へや。  
( ) へや。

3 人が 多い。  
( ) 。  
4 ( ) 細かい くだ。  
( ) くだ。

すく 少ない・小さい・広い・太い

2 つぎの  の ことばと はんたいの いみの ことば  
を、下から えらんで、——で つなぎましよう。 一つ7点

1 強い 風。  
• さむい

2 あつい 日。  
• みじかい

3 遠い 国。  
• 近い

4 長い ひも。  
• 弱い



3 つぎの の ことばと はんたいの いみの ことばを、  
書きましよう。

一つ6点

1 前まえを見る。  
（ ）を見る。

2 下の は。  
（ ）の は。

3 左の まど。  
（ ）の まど。

4 男おとこの 人。  
（ ）の 人。

4 つぎの の ことばと はんたいの いみの ことばを、

から えらんで （ ） に 書きましよう。 一つ8点

1 朝あさ 早く （ ） 。 ⇕ 夜よる おそく ねる。

2 たたかいに かつ。 ⇕ たたかいに （ ）。

3 やさいを 売る。 ⇕ やさいを （ ）。

買う・まける・おきる



- 1 あらわす
- 2 は、みしすを
- 3 は、ものや
- 4 は、しぎきを
- あらわす
- ことばだ。
- か
- ま

はんたいの いみの ことば②



月  
.....  
日

てん  
点

1 つぎの  の ことばと はんたいの いみの ことばを、  
から えらんで 書きましよう。 一つ8点

1  
ふくを  ぬぐ。  
ふくを

2  
くつを  ぬぐ。  
くつを

はく・はぐ・きる・とる

2 つぎの  の ことばと はんたいの いみの ことばを、  
から えらんで 書きましよう。 一つ8点

1  
あつい  おゆ。  
あつい  水。

2  
あつい  夏。  
あつい  冬。

3  
あつい  本。  
あつい  本。  
うすい・つめたい・さむい





1 つぎのことばと にた いみの ことばを、下から えらんで、——で つなぎましょう。

一つ7点

1 こわい 話す<sup>はな</sup>

2 きれいだ かける



3 言う うつくしい

4 走る<sup>はし</sup> おそろしい



2 つぎのことばと、いみが にて いる ほうのことばを えらび、( ) に ○を 書きましょう。 一つ6点

1 サッカーが うまい。

( ) おいしい  
( ) じょうずだ

2 文字を 書く。

( ) しるす  
( ) えがく

3 点を うばう。

( ) とる  
( ) ぬすむ



**3** 文に 合う ほうの ことばを えらび、( ) に ○ を 書きましよう。

一つ 8 点

① さいふを

( ) けす。  
( ) なくす。

② 目を

( ) とじる。  
( ) しめる。

③ 妹は

( ) まぶしい  
( ) 明るい

せいかくだ。



**4** つぎの 文の ( ) に 合う ことばを 二つ えらんで、( ) に 記ごうを 書きましよう。

①~③ それぞれ 10 点

① デパートへ ( ) に行く。

( ) ( ) ( ) ( )

② 出かける 前に、( ) に行く。

( ) ( ) ( ) ( )

③ ( ) の 上を ふく。

( ) ( ) ( ) ( )

ア テーブル イ 買いもの ウ トイレ  
エ ショッピング オ お手あらい  
カ つくえ



**2** ~ **4** は、それぞれの ことばを 文の 中に入れて みてね。

答え 74 ページ



12

組み合わせたことば①

月  
.....  
日

点

1 つぎのことばを 組み合わせせて、一つのことばを作ります。

一つ6点

① 色 + えんぴつ



② 虫 + かご



③ 風 + 車



④ 青い + 白い



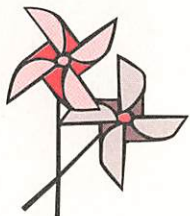
⑤ 大きい + 空



⑥ 言う + 直す



⑦ 書く + おわる



組み合わせたときに、読み方がわかることばがあるよ。

**2** つぎの ことばを、もとに なった 二つの ことばに

分けましょう。

①〜⑤ それぞれ 6点

① 長<sup>なが</sup>ぐつ



+



② 細<sup>ほそ</sup>なが<sup>なが</sup>い



+



③ もちはこぶ



+



④ ふりかえる



+



⑤ とび出す



+



**3** つぎの  に 合<sup>あ</sup>う ことばを 書きましょう。 一つ7点

①

+

うけとる

② 切<sup>き</sup>る

+

切りおとす

③ とぶ

+

回<sup>まわ</sup>る

④ あらう

+

あらいながす



**3** は、下に 来る ことばの 形は かわらないよ。

答え・74ページ



13

組み合わせたことば②

月  
日

点

1 | を引いたことばを、組み合わせたことばにして、書きましよう。  
一つ5点

① 台だいから とんで 下くだりる。 ↓ ( )

② 本を つんで かさねる。 ↓ ( )

③ 友ともだちに 走はしって よる。 ↓ ( )

④ お金を とって 出です。 ↓ ( )

2 | 〈へれい〉のように、つぎのことばの いみを 書きましよう。  
一つ6点

〈へれい〉 近道ちかみち… (近い道)

① 大おお通り ( )

② 小こ石 ( )

③ 親しん友ゆう ( )

④ 黒くろまめ ( )

⑤ 長ながそで ( )



3 つぎの  に 合う ことばを ひらがなで 書きま  
しょう。  
一つ5点

① くり +  ↓ くりひろい

② 山 +  ↓ 山のぼり

③ とる +  ↓

④ あまい +  ↓ あまからい



4 つぎの ことばを つかって、みじかい 文を 作りましょ  
う。  
一つ10点

① もち上げる

② 見直す みなお

③ ふり回す まわ

2 は、まず、二つの ことばに 分けて みよう。





# 14 たしかめ

## もんだい

②



月
日

点
---

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

スーパーマーケットに 行って、りんごを

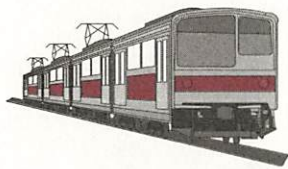
買った。中では、ふたりの 子どもが 大声を

出して さわいで いた。

帰りの 電車で、まどの 外の

けしきを 見た。夕日が さして、

まどの ガラスが 光って いた。



1 アーウのはんたいの いみの ことばを 書きま  
しょう。 一つ9点

ア ( ) イ ( )

ウ ( ) の いみを 〈れい〉の ように 書きましよう。 9点

〈れい〉古本…古い本

大声… ( )

3 エ・オの いた いみの ことばを 書きましよう。

一つ10点

エ ( ) オ ( )

2 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

ア かって いた ねこの ミミが、とつぜん 家に 帰らなく なった。はり紙を 作って、みんなで さがし 回った。でも、見つからなかった。

イ そんな ある とき、人に よび止められた。びっくりしたが、その 人は、ミミを つれて きて くれたのだった。



1 アの 文の 中から、組み合わせで できた ことばを二つ ぬき出しましょう。

8点

2 イの — の ことばを、もとに なった 二つの ことばに 分けましょう。

一つ6点

3 つぎの □ に 合う ことばを 書きましょう。

一つ8点

1 作る + □ ↓ 作りはじめる

2 □ + 下りる ↓ かけ下りる

3 おう + はらう ↓ □



月  
.....  
日

点

① ( ) に入る ことばを、 から 一つずつ えらんで  
書きましよう。   一つ5点

- ① ( ) が ぐる。
- ② ( ) が 走る。
- ③ ( ) の 花は きれいだ。
- ④ ( ) は 家で ねて いる。

車・さくら・タマ・雨



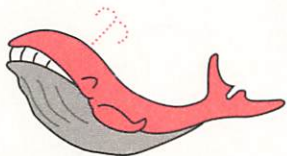
② 何が 何は (主語) に あたる ことばに、 —— を 引ひ

きましよう。

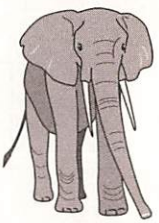
一つ5点

① くじらが およぐ。

② 鳥は 空を とぶ。



③ あれは ぼくの ノートだ。



④ ぞうの はなは 長い。

「が」や「は」の  
ことばを  
ここに  
かきなさい。



主語は、文の頭に ある ことが多いよ。



3 **だれが** だれは (主語) に あたる ことばを 書きましょ  
う。 一つ6点

1 わたしが 行く。

2 **弟が** おとうと ころぶ。

3 ぼくは 二年生です。

4 おかあさんは 店で みせ 買いものを する。

5 あしたも 友だちが とも 来る。

4 **だれが** だれは (主語) に あたる ことばを 書きましょ  
う。 一つ6点

1 ぼくは 学校へ 行く。

2 おとうさんが しごとを する。

3 おばさんは ときのように いる。

4 **兄は** あに 中学生だ。  
ちゅうがくせい

5 だれもが かなしくて ないた。



月
日

点
---

1 ( ) に入る ことばを、 から 一つずつ えらんで  
書きましよう。

一つずつ

1 ニワトリが 大声で ( )。

2 大雪が ( )。

3 ぼくは 絵を ( )。

4 わたしは イチゴが ( )。



かいた・ふる・すきだ・鳴く

2 どうする どうした (述語) に あたる ことばは、

を 引きましよう。

一つずつ

1 キツネが 子どもを そだてる。

2 きれいな 花が さく。

3 妹が ようち園に 入る。

4 赤ちゃんが すやすや ねむる。



主語が どうしたといふ  
ぶんじに 考えて  
みよう。



3 どんناد (述語) に あたる ことばを 書きましょう。

一つ6点

1 弟の 顔は 丸い。

2 川の 水が つめたい。

3 兄の 手は 大きい。

4 秋の 空は さわやかだ。

5 つくえの 上が きれいだ。



4 何だ (述語) に あたる ことばを 書きましょう。 一つ6点

1 バナナは くだものだ。

2 テントウムシは こん虫だ。

3 ぼくは そうじがかりです。

4 姉は テニスぶの ぶ長だ。

5 あの 人は おばさんです。



述語は、文の おわりに ある ことが 多いよ。

1 つぎの 文の 主語（「何が（は）」「だれが（は）」）に  
 — を、述語（「どうする」「どんなだ」「何だ」）に 〰〰〰  
 を 引きましよう。

①〜④ それぞれ7点

① 大きな ぼうしが 風で とんだ。

② さるが するすると 木に のぼる。

③ きノウ、どうぶつ園は 休みだった。

④ ぼくの おじさんは けいさつかんだ。



2 つぎの 文の 主語（「何が（は）」「だれが（は）」）と、述語  
 （「どうする」「どんなだ」「何だ」）を 書きましよう。

①〜③ それぞれ6点

① 白い 馬が 道を よこぎる。

② 木の 上の すずめが とても うるさい。

③ はたけで とって きた やさいは キヤベツだ。



3 つぎの 文の 形を  から えらんで、記ごうを 書か  
 きましよう。

一つ6点

1 ももは おいしい。

2 ももは くだものだ。

3 ももが くさる。

4 カンガルは 足が 強い。

5 カンガルが とび回る。

6 外は 朝から 雪が ふって いる。

7 姉が 公園で 花の 絵を かく。

8 わたしの すきな ふくは スカートだ。

9 まどから 入る 光が まぶしい。

ア 何が (は) どうする。  
 イ 何が (は) どんなんだ。  
 ウ 何が (は) 何だ。



3 は、述語から 見分けると わかりやすいよ。



18

くわしくする じぶ



月  
日

てん  
点

1  の ことばを くわしく して いる ことばは、  
を <sup>ひ</sup> 引きましよう。

一つ5点

1 赤い 夕日 が きれいだ。

2 あまい アメ を なめる。

3 おとなしい 子ども が いる。

4 川で、小さな <sup>さかな</sup> 魚 が およぐ。



5 あたたかい おでん が ゆげを 立てる。



2  の ことばを くわしく して いる ことばを <sup>か</sup> 書  
きましよう。 一つ5点

1 大きな  へや に すむ。

2 青い 空を 白い  ひこうき が とぶ。

3 わたしの  えんぴつ に <sup>なまえ</sup> 名前を 書く。

4 なまあたたかい  <sup>かぜ</sup> 風 が ふく。

5 二つの  こま が くるくる <sup>まわ</sup> 回る。





# 19 たしかめ

## もんだい

3

月

日

点

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

わたしは 二年生だ。一才 下の 弟は 一年生に なった。

わたしと 弟の へやは、わたしが 一年生の ときから、べつべつだ。へやの カーテンは 白い。



1 「だれが(は)」に あたる ことば 二つに、――を 引きましよう。 一つ6点

2 「何が(は)」に あたる ことば 二つに、|| を 引きましよう。 一つ6点

3 「どうする(どうした)」「どんなだ」「何だ」に あたる ことば 四つに、~ を 引きましよう。 一つ5点

4 一年生なのは、「だれ」ですか。 10点

5 べつべつなのは、「何」ですか。 10点

3 は、述語(じゆご)のみ。それぞれの主語をさがしてみよう。



2 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

きのうは、雨が しとしと ふって いた。にわ  
に 生えた 大きな あじさいが ぬれて いる。  
きょうは、晴れて いるので、  
あじさいは 強い たいようの  
光を はねかえして、きれいだった。



1 「どんな」に あたる ことば 二つに、—を 引きま  
しょう。 一つ 6点

2 「どのように」に あたる ことばに、||を 引きましょ  
う。 6点

3 「どんなだ」に あたる ことばに、~を 引きましょ  
う。 8点

4 あじさいの どんな ようすが きれいだったのですか。  
10点



2 の 4 は、「きれいだった」の 前の ぶんを見て みよう。



月

日

てん  
点

1  に まる(○)か てん(ん)を つけましょう。

①④ それぞれ5点

① ねこが  えさを おいしそうに 食べる

② 魚が  すいすい およいで いる

③ 家に つくと  父が 帰って いた

④ 十時に なっても  ねむれなかった

2 つぎの 文の  の うち、正しい ところに てん(ん)を 三つ、まる(○)を 二つ つけましょう。 一つ6点

あした  かぞくで ピクニックに 行きま  
 す  ただ、あしたは 天気が あまり よく  
 ないそうなので しんぱいです。

ピクニックする ところは  車で  
 二時間 走った  ところに あって   
 おとうさんと おかあさんが 行くのは  
 二回目だそうです



3 つぎの 文が 読みやすく なるように、てん( )を 一つ  
ずつ つけましょう。

一つ5点

1 ぼくの 姉は えい語を ならって いる。

2 さむかったので コートを きた。

3 一か月後 りょこうで 海へ 行く。

4 がんばったのに しっぱいして しまった。

4 つぎの 文の  の うち、正しい ところに まる( )と  
かぎ(「」)を つけましょう。

ぜんぶできて30点

休み時間 になった  ので、友だちに、

ドッジボールを しよう。

と  言った  すると、友だちが、

きょうは、本を 読もうよ。

と  言ったので、ふたりで

図書かんに 行った



いみの 切れた ところに てん( )を、  
文が おわった ところに まる( )を 入れるよ。



21

まる( ) てん( ) かぎ  
「」の つかい方<sup>かた</sup>②



月  
.....  
日

てん  
.....  
点

1 つぎの ①③の 文に てん( )を 一つずつ つけて、  
ア・イの せつめいに 合う 文に しましょう。 一文8点

① ここではきものをぬぎなさい。

アきものを ぬぐ。

イはきものを ぬぐ。

② ぼくはブラシを<sup>か</sup>買う。

ア買う ものは ブラシ。

イ買う ものは はブラシ。

③ わたしはわらいながらにげる弟<sup>わとうと</sup>をおいかけた。

アわらって いるのは わたし。

イわらって いるのは 弟。



てん( )を 一つ  
とここで、 いみが  
かわるよ。



2 つぎの文に てん(こ)を 一つずつ つけましょう。一つ8点

1 トラが えものを おいかける。



2 雲が もくもくと わいて きた。

3 それでも もとに もどる ことは できない。

4 絵を かいて 本を 読んだ。



3 つぎの 文を、会話の ぶんが わかるように、あとの

ます目に 正しく 書き直しましょう。

20点

おかあさんがわたしに、てつだって。と言ったが、  
あとでね。とへんじをした。




3 の 会話は、「」で かこんで、行を かえるよ。



# 文をつなぐことば①

月 \_\_\_\_\_  
日 \_\_\_\_\_

てん点 \_\_\_\_\_

1 文の つながりを 考えて、合う ほうを えらび、  
に ○を 書きましよう。 一つ7点

1 雨がふってきた。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

そして  
だから  
かさ を さす。

2 雨がふってきた。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

しかも  
しかし  
あそびに行く。

3 これはおもしろい。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

さらに  
すると  
ためになる。

4 あまりすきではない。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

そのうえ  
つまり  
きれいなのだ。

5 ぼくは二年生です。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

遠足の行き  
ところが

先はどこですか。

6 朝ごはんはパンですか。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

ごはんですか。



2 ( ) に入る ことばを、  
書きましよう。

1 しゆくだいを した。  
わすれた。

2 あしたは 晴れですか。  
もりですか。

3 大通りは エジ中だ。  
道を した。

4 雨が ふって きた。  
ふいて きた。

それとも・そこで・でも・そのうえ

3 絵に 合う ように、つぎの ことばに つづけて、文を  
作りましよう。

1 せきが 出る。  
そのうえ、

2 べんきようを した。  
だから、

一つずつ えらんで  
一つずつ

、家に

、く

、回り

、風も



一つ15点

1 ( ) に入る ことばを、 から 一つずつ えらんで  
書きましよう。 か 一つ5点

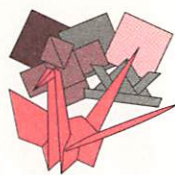
1 ( ) 色紙いろがみを 半分はんぶんに おり、

2 ( ) その 半分に おります。

3 ( ) 色紙を ひろげ、 おり

目を はさみで 切りましよう。

つぎに・はじめに・おわりに



2 ( ) に入る ことばを、 から 一つずつ えらんで  
書きましよう。 2 一つ5点

1 ( ) やさいを あらいます。

2 ( ) あらった やさいを、す

べて 同じおな くらいの 大きさに 切ります。

3 ( ) 切った やさいを、肉にくと

合わせて あぶらで いためます。

さいごに・それから・まず



3

正しく 文が つづくように、( ) に 番ごうを 書きま  
しょう。

①②はそれぞれ20点、③は30点

1

- ( ) つぎに、十字ろを 左に まがる。
- ( ) おわりに、はしを わたる。
- ( ) まず、くすりやの かどを 右に まがる。

2

- ( ) さいごに、土を かけ、水を やる。
- ( ) はじめに、土に ゆびで くぼみをつくる。
- ( ) つぎに、その あなに たねを 入れる。

3

- ( ) つぎに、その しごとを して いる 人に  
話を 聞いて、メモを とる。
- ( ) さいごに、書いた 文を みんなの 前で 読む。
- ( ) それから、メモの ないようを 文に する。
- ( ) はじめに、しごとの ないようを しらべる。



3 の ③は、「つぎに」と「それから」の じゆん番に 気を  
つけよう。

答え...77ページ



月
日

点
---

1 — の ことばが すぎた ことを あらわす 言い方に  
なっている ほうに、○を 書きましょう。 一つ8点

1 ( ) ( )  
きのう、バレーボールを した。  
( ) ( )  
きのう、バレーボールを する。



2 ( ) ( )  
三時に 食べた。  
( ) ( )  
三時に 食べる。



3 ( ) ( )  
さっき、本を 読んだ。  
( ) ( )  
さっき、本を 読む。

2 — の ことばが ていねいな 言い方になって いる  
ほうに、○を 書きましょう。 一つ8点

1 ( ) ( )  
学校で ある。  
( ) ( )  
学校で あります。



2 ( ) ( )  
きのう、赤ちゃんが 生まれました。  
( ) ( )  
きのう、赤ちゃんが 生まれました。

「どう「ます」をつか  
うと、ていねいな 言い  
方になるよ。」



3 — の ことばを、「そうだ」を つかって、人から 聞きいた  
言い方かたに 書きかえましょう。 一つ10点とん

1 あした、学校は 休みだ。

2 公園こうえんは とても 広いひろ。



3 夜空よぞらに うかんだ 花火は きれいだった。



4 — の ことばを、「からです」を つかって、りゆうを しめす 言い方に 書きかえましょう。 一つ10点

1 ないて いるのは、かなしい ことが あった。



2 デパートが こんで いるのは、休みの 日だ。

3 プレゼントを 買ったのは、妹いもうとの たん生日じょうびだ。



3 は、「と」いう ことだ」という 形かたちでも、人から 聞いた 言い方かたに なるよ。



# 25 たしかめ

## もんだい

④

月
日

点
---

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

天气が よいので  ポチを さんぽに つれ

て いった  近じよを 歩いて いると  知

り合いの おばさんが、

こんにちは。よい 天気ね。

と、声を かけて くれた。

(ア)、おばさんは、ポチの

名前は わすれて いた。(イ)、

わたしの ことを、まちがった 名前でも よんだ。



① 文の 中の  に、てん( )を 二つ、まる( )を 一つ、かぎ( )を一組 書きましょう。 一つ10点

② (ア)・(イ)に入る 文を つなぐ ことばを、 から えらんで、書きましょう。 一つ10点

ア ( ) イ ( )

だから・そのうえ・でも・それとも



かぎ( )は「」で「」を一組だ。

2

つぎの文を読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

きょう、うんどう会が <sup>ア</sup> ありました。かけつ

こを <sup>いちばん</sup> したが、一番には <sup>イ</sup> なれない。

おとうさんと おかあさんが おうえんに 来て

くれた。おばあさんも 来たがって いたそうだ。

( )、家に 帰ったら、

うんどう会の ことを たくさん

話して あげようと 思う。



① — アは ていねいな 言い方です。ふつうの 言い方に

書きかえましょう。

10点

② — イを すぎた ことを あらわす 言い方に 書きか

えましょう。

10点

③ 人から 聞いた 言い方の 一文に、— を 引きましよう。

10点

④ ( ) に 入る 文を つなぐ ことばを、 [ ] から え

らんで 書きましよう。

10点

だから・ところで・しかも



2 の 3 は、文の おわりに 気を つけて みてね。

答え…78 ページ



月

日

てん  
点

1 つぎの 絵<sup>え</sup>から できた かん字を 書<sup>か</sup>きましょう。

一つ8点



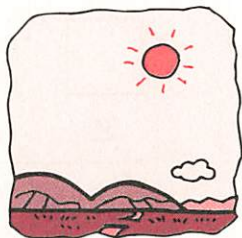
①・②は、  
一年生で  
ならった  
かん字だよ。





3 の 2 は、上下に 組み合わせてね。

3	2	1
日	山	人
+	+	+
青	石	木
↓	↓	↓
□	□	□



答え：78 ページ

3 つぎの 二つの かん字を 組み合わせて できた かん字を 書きましょう。

一つ8点

三・下・一・本

3	1
□	□
4	2
□	□

2 つぎの しるしから できた かん字を、 から えらん で 書きましょう。

一つ7点



27

同じぶ分をもつかん字



月  
日

点

1 正しい かん字を えらんで、( )に ○を 書きましよう。

一つ4点

① 数かずが すく ない。

② 数かずが おお い。

③ やす み時間じかん。



2 形かたちに 気きを つけて、 かん字を 書きましよう。 かん字一字4点

① ア ののぐを つかう。

イ 色いろ を 切る。

② ア を 聞く。

イ 日ひ を 書く。

③ ア に 帰かえる。

イ 教きょう 師し に 入いる。



④ ア いくつ 取る。

イ を さかな



3 形かたちに 気きを つけて、かん字かんじを 書かきましたよう。かん字かんじ一字いちじ4点てん

ア どうぶつ  えん

1 イ  ず  
工こうの 時間じかん。

ウ  く  
語ごの 時間じかん。



ア  あめ  
が ふる。

2 イ  ゆき  
は 白い。

ウ  くも  
が 出る。

4 かん字かんじの まちがいまちがひに —— を 引ひいて、右みぎがわに 正ただしく 書かき直なおしましょう。それぞれ 二つ まちがいまちがひが ありあります。

①④ それぞれ 8点

1 字校がっこうの ある 万角ばんかくの 空そらが 黒くろい。

2 毛てで 自めを こすると 赤あかく なる。



3 牛後ごごに なって、母ははと 内うちやに 行いった。

4 親おなしい ノートを 白円ひやくえんで 買かう。



2 3

は、かん字かんじの 中なかに 同おなじ 形かたちの ぶ分ぶんが あるよ。



28

組み合わせてなりたつかん字



月  
日

点

1 つぎの 二つの かん字を 組み合わせ、一つの かん字を 作りましょう。

1 言 + 十

↓

[ ]

2 人 + 本

↓

[ ]

3 田 + 心

↓

[ ]



2 へいゝのように、つぎの かん字に 一を 引いて、二つの ぶんぶんに分けましょう。

へいゝ

明

1 鳴

2 雪

3 星

4 妹



**3** つぎの二つのぶんぶんを組み合わせ、一つのかん字を作ります。

① シ + 也 ↓

② イ + 亅 ↓

③ □ + 玉 ↓

④ 宀 + 至 ↓

**4** ①「糸」と②「口」にア、ウを組み合わせ、かん字を作ります。

① ア 田

イ 会

ウ 氏

② ア 鳥

イ ム

ウ 十



**4** の②のイとウは、上下に組み合わせ、みてね。





同じ読み方のかん字①

月  
日

点

1 正しいかん字をえらんで、( )に○を書きましよう。

一つ6点

1 お楽しみ

貝会

2 ようち

円園

3 本

当東

4

校交番

2 □にかん字を書きましよう。

かん字一字3点

1

イ先 □ ぎを  
に なる。 □ ぎを  
に なる。 □ ぎを  
に なる。

2

イ □ てん □ てん  
数 を つける。 □ 国 に 行く。

3

イ草 □ げん  
を 走る。 □ げん  
に なる。

4

イ人 □ あ □ あ  
に □ あ □ あ  
う。 □ あ □ あ  
う。





4

は、一つずつ まちがいが あるのが わかるかな。

答え...79ページ

4 もえるような

赤い 夕火。



3 魚やおじさんはいつも原気だ。

2 兄が 校園のベンチに いる。



1 みんなと 何会もおよぐ。

4 かん字の まちがいに 書き直ししよう。  
——を 引いて、右がわに 正しく  
①④ それぞれ7点



①

ウ	イ	ア
東	<input type="text"/>	<input type="text"/>
に	室	弟
行く。	に入る。	げんか

②

ウ	イ	ア
かん	<input type="text"/>	<input type="text"/>
間	を	分
を書く。	を見る。	でやる。

3 に かん字を 書きまししよう。

かん字 一字4点

1 かん字を えらんで、( )に ○を書きましよう。 一つ7点

1 理

科 夏  
室

2 二

東 頭  
の 馬

3

先 線  
を 引く。

4

気 汽  
車 が 走る。

2

と読む かん字を 書きましよう。

かん字 一字3点

1 しょう

ア 年の 名前。  
イ 大の 数。

2 ぶん

ア 新の を 読む。  
イ 自の もの。

3 こう

ア 場の 中。  
イ 園で あそぶ。

4 か

ア ろうの を ふく。  
イ 山の ようす。



3 と読む かん字を 書きましょう。 かん字 一字 3点

1 や

ア  きゆうをする。

2 ち

ア電  を 買う。

イ十五  の 月。

イ  図  を 見る。

3 しん

ア  切  な 人。

4 あ(ける)

ア夜  が  ける。

イ  かん  線

イせきを  ける。

4 かん字の まちがいに | を 引いて、右がわに 正しく 書き直しましょう。それぞれ 二つ まちがいが あります。

1~4 それぞれ 6点

1 海に 言って、回がらを ひろった。



2 小年は 強い 日工を あびた。

3 町の 中親に 公遠が ある。

4 テストの 答え会わせを して、さい天する。



3 の 4 は、アが 朝になる こと、イが からの じゅうたいに する こと を はすよ。



月

日

てん  
点

1 つぎの 絵えに 合うあう ううごきを あらわす ことばを、かん字  
と おくりがなで 書かきましよう。

一つ8点



2 おくりがなの 正しい ほうを えらんで、( ) ( ) に ○を  
書かきましよう。

一つ6点

教おる 教おえる少おない 少おい明ある 明あける晴ある 晴あれる

3

つぎの ことばを かん字と おくりがなで 書きましよう。

一つ4点

① こたえる

② ちかい

③ かぞえる

④ とおる

⑤ かえる


⑥ あたらしい

4

つぎの 文には、かん字の おくりがなの まちがいがある。四つあります。かん字と おくりがなを 正しく 書き直しましよう。

一つ7点

太<sup>ふ</sup>い 道<sup>みち</sup>が 二つに 分<sup>わか</sup>れて  
 いる。遠<sup>と</sup>おくの 森<sup>もり</sup>の 中<sup>なか</sup>に、山<sup>やま</sup>ご  
 やが あり、ま<sup>ま</sup>どが 明<sup>あ</sup>かるく か  
 がやいて いた。




かん字は おくりがなも まちがえないように 書こう。



32

たしかめ

もんだい

5

月
日

点
---

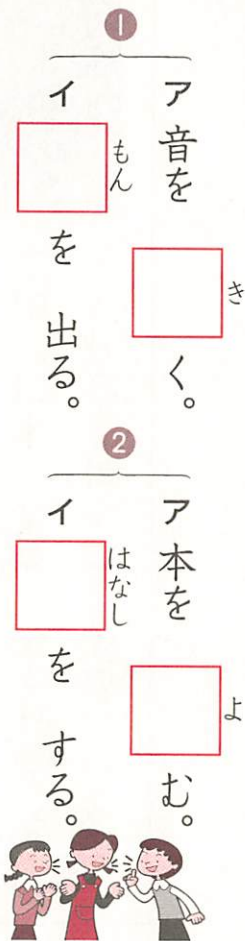
1 つぎの 絵から できた かん字を、 から えらんで 書きましよう。



一つ7点

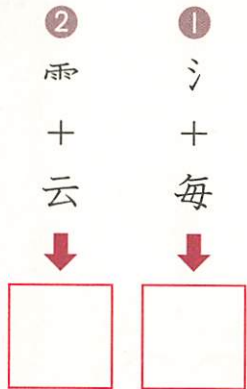
門・弓・月・羽・馬・鳥

2 形に 気をつけて、かん字を 書きましよう。 かん字 一字7点



3 つぎの 二つの ぶんを 組み合わせて、一つの かん字を 作りましよう。

一つ6点



4 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

わたしの 家では、ウサギの チャックと ピ  
ンクを かって いる。月が ア あかるく イ ひか  
る 夜、チャックと ピンクの 赤ちゃんが ウ  
まれました。午後十一時だった。

弟は、赤ちゃんを とても かわいがって い  
る。交作の 自間、ねん土で その  
赤ちゃんを エ つくったそうだと。



① かん字の まちがいがある 三つ あります。――を 引いて、  
右に 正しく 書き直しましょう。 一つ 6点

② ア エを おくりがなも ふくめて かん字で 書きま  
しょう。 一つ 7点

ウ	ア		
( )	( )		
		( )	( )
		エ	イ
		( )	( )
		( )	( )



同じ 読み方の かん字は まちがえやすいので 気をつけてよう。



33

# まとめのテスト ①

●●●●●●●●  
 目ひょう時間

15 分

月 日

点

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

わたしたちの 生活の いろいろな 場めんて、  
 活やくして いる 車が ある ことを 知って  
 いますか。

たとえば、ア きゆうきゆう車です。きゆうきゆう  
 車は、びよう気に なった 人や、じこに あつて  
 けがを した 人などを、  
 びよういんへ はこぶ ため  
 に、昼も 夜も はたらいて  
 います。びよう人や けが人  
 を 早く びよういんへ は  
 こぶ ために、ふつうの 車  
 は、きゆうきゆう車に イ 道を  
 ゆずらなくては なりません。



ウ、パトカーも あります。ウーウーと、  
 大きな サイレンを 鳴らしながら、走って いる  
 パトカーを、みなさんも 見た ことが あるので  
 は ないでしょうか。エ この 車は、けいさつかん

が じけんや じこが あった ところに オ かけ  
つける ための ものです。

 **もんだい**

① 文の 中には、活かつやくする 車と して、どのような 車  
が出て きますか。二つ 書かきましよう。 一つ8点

② — アとは、どのような 車ですか。( ) に 合あう こと  
ばを 書かきましよう。 一つ5点

(1) ( ) になつた 人や、  
( ) を した 人などを、  
(2) ( ) へ はこぶ 車。  
(3) ( )

③ — イのように しなくては ならないのは どの 車で  
すか。正しい ものを 一つ えらんで、○を 書かきましよう。  
9点

( ) ふつうの 車 ( ) パトカー  
( ) きゅうきゅう車



車のしゅるいやそのはたらきが読みとれたかな。

答え：80ページ

④  に 合う ことばに、○を 書きましよう。 10点

( )  
( )  
そして

( )  
( )  
でも

( )  
( )  
なぜなら

⑤ — ウは 何の 音ですか。 15点

( )

( )

⑥ — エは どの 車を さして いますか。 15点

( )

( )

⑦ — オの ことばを 二つに 分けて、もとの 形に 直して 書きましよう。 20点

( )

( )

+

( )

( )



34

## まどめのテスト ②



目ひょう時間

15 ぶん分

月 日

てん点

1 つぎの 文を 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

さむい さむい こおりの 国くにに、ペンギンの

ふうふが すんで いました

おかあさんペンギンが、大きな たまごを 一こ

だけ 生なみました。その たまごを おとうさんと

おかあさんが かわりばんこに あたためて いる

うちに  かわいい ひなが 出て きました。す

ると、ふうふは こんどは かわりば

んに 海うみへ 出て、子どもの エサ

を はこんで こなければ ならなく

なりました。

行ってきます。

そう 言って、おとうさんペンギン

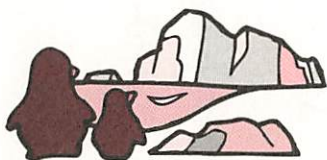
が、海へと おかいました。子どもペンギンは、お

ながか すいて いるので、おとうさんの 後ろうしろす

がたが まだ 見えて いる うちから

おとうさんは、いつ 帰かえって くるの。

と 言って います。



おかあさんペンギンは、子どもペンギンのせな  
かを なでながら、子もり歌うたを 歌うたうのでした。



① 文の 中の  に、てん( )を 二つ、まる( )を 一つ、  
かぎ(「」)を 二組ふたぐみ 書きかましよう。 一つひとつ 6点てん

② ペンギンの ふうふは、どこに すんで いるのですか。 15点

③ おかあさんペンギンは、たまごを 何なんこ 生なみましたか。  
かん字で 書きましよう。 10点

④ ペンギンの ふうふが、たまごを どのように したら、  
ひなが 出て きたのですか。( ) に 合あう ことばを 書  
きましよう。 15点

( ) に あたためた。

5 おとうさんペンギンが 海へ 行ったのは、どうしてですか。正しいものを一つ えらんで、○を書きましよう。

15点

ア ( ) 自分の エサを さがすため。

イ ( ) おかあさんペンギンの エサを さがすため。

ウ ( ) 子どもペンギンの エサを さがすため。

6 おとうさんペンギンが 海へ 行く ときの 子どもペンギンの ようすとして、まちがっているものを一つ えらんで、○を書きましよう。

15点

ア ( ) おなかが すいて いる。

イ ( ) おとうさんペンギンが いつ 帰るか 知りたがって いる。

ウ ( ) 子ども歌を 歌って いる。



ペンギンたちの ようすが 読みとれたかな。

# 答え

## 1 一年生のふくしゅう

2～3ページ

- 1 イルカ 2 ペン 3 バター  
4 バス 5 ケチャップ
- 1 とう 2 ひき 3 にん  
4 だい 5 ぼん
- 1 ピアノ・シンバル・ギター  
2 うさぎ・ライオン・ぞう  
3 パイナップル・りんご・バナナ
- 1 少ない 2 小さい 3 左  
4 ひろう 5 すすむ(へうこく)  
6 出る

### アドバイス

3 の答えは、それぞれ順不同です。選択肢にある言葉を、絵などで示してあげると、なかま分けがしやすくなるでしょう。  
4 の⑤のへは別解です。

## 2 かたかなのことは①

4～5ページ

- 1 リボン 2 テレビ 3 ケーキ  
4 バット 5 チョコレート
- 1 メーメー(ヘメエメエ)  
2 ワンワン 3 ミンミン  
4 ツルツル 5 ザーザー(ザアザア)  
6 ピカピカ
- 1 ヒヒーン 2 ゴロゴロ  
3 トントン
- 1 トンベツトと ヒアの えんそう。  
2 テューリップと ユスモスを うえる。  
3 ライオンの おりの 前で カヌラを かまえる。

アドバイス は おうちの 方へ むけた ものです。  
学しゅうの ポイントを しようかいて います。

### アドバイス

2 は、①③が鳴き声、④⑤⑥が物の様子や音を表す言葉になっていることをヒントとして示してもよいでしょう。  
4 は、まちがえやすい形の問題にしました。かたかなを書く際には、止め、はねなども意識するように指導してください。

## 3 かたかなのことは②

6～7ページ

- 1 カアカア・モーモー・ケロケロ  
2 バシャバシャ・ゴソゴソ・ドンドン  
3 エジソン・パリ・スイス  
4 ジュース・テレビ・シャワー
- 1 カーテン・ピンク  
2 キャベツ・バリバリ  
3 プレゼント・マフラー  
4 バレンタイン・チョコレート
- 1 強い風がビュービューふいてきた。  
2 おにいさんがドアをバタンとしました。

### アドバイス

1 の答えは、それぞれ順不同です。  
3 は一つの例なので、自由に書かせていただいて結構です。他にも、日常生活の中で使う言葉を例に出して、文を考えさせるとよいでしょう。

## 4 なかまのことは①

8～9ページ

- 1 春・秋 2 ロ・耳 3 東・北
- 1 やさい 2 なす・レタス・はくさい・きゅうり  
3 色 4 手・うで・足・はら
- 1 やさい 2 なす・レタス・はくさい・きゅうり  
3 天気 4 体  
青・赤・黒・白  
晴れ・くもり・雨・雪

- 3 ①すずめ ②こん虫 ③トンボ
- 4 テントウムシ ⑤ハンバード
- 6 おかし ⑦せんべい
- 8 キャンデー

※③④と⑦⑧はそれぞれ入れかえ可。

**アドバイス**

- 1 ①の答えは、それぞれ順不同です。
- 3 ③は、一番上が最も大きなまどめ方になっていることを確認させてください。

**5 なかまのことはば** ② 10〜11ページ

- 1 ①のりもの↓船↓ボート
- 2 どうぶつ↓犬↓チワワ
- 2 ①アリはケーキより小さい。
- 2 ヒマワリは女の子よりせが高い。
- 3 ぞうのはなは長い。
- 4 かれはとても足がはやい。
- 3 ①のむ ②ひろう ③とぶ
- 4 歩く

- 4 ①おとうさんのかたをたたく。
- 2 うでにくすりをぬる。
- 3 プールでおよぐ。

**アドバイス**

- 2・4 ①は一例です。②の④の「はやい」を「はやく」などと活用させても結構です。動詞の部分が絵に合う内容であれば正解です。

**6 音や ようすを あらわす ことば** ① 12〜13ページ

- 1 ①ワンワン ②パラリ
- 3 ガチャン
- ①ボチャン ②チュンチュン
- ③キキーツ ④キュッキュツ

- 3 ①ひよこが

② ハチが

③ 雨が

④ カエルが

- 4 ①ピョンピョン

② ピチヨン

③ カキーン

④ コンコン

⑤ ガチャガチャ

**アドバイス**

様子を表す言葉の中には、かたかな表記のものが多いことも確認させるとよいでしょう。

**7 音や ようすを あらわす ことば** ② 14〜15ページ

- 1 ①のろのろ ②ぎらぎら
- 3 ③ことこと

- 2 ①まるまる ②すやすや

③ もくもく ④ふわふわ

- 3 ①やきいもが ④ひらひら とぶ。

② ほう石が

③ かみの 毛が

④ チョウが

- 4 ①ニヤー・キヤツキヤツ

②ぐらぐら・につこり

**アドバイス**

物の様子を表す言葉を扱っています。④は、実際にそのような音がしているかどうかに注意させるようにしてください。

**8 たしかめ もんだい** ① 16〜17ページ

- 1 ①ポスト・イギリス

② エジプト・アイスクリーム

ブンブン とぶ。

ザーザー ふる。

ケロケロ 鳴く。

ピヨピヨ 鳴く。

せきを する 音。

ホームランを うつ 音。

さらを あらう 音。

水てきが おちる 音。

カエルが はねる ようす。

3 アイ

2 1 すやすや

2 ア(れい)赤ちゃんが歩くようにす。

イ(れい)赤ちゃんがすわるようにす。

3 イ

### アドバイス

1 は、それぞれ順不同です。

2 の2は、アが「まだ上手に歩けないようにす。」イが「しりもちをつくようにす。」などでもよいでしょう。3は、「きらきら」という表現から人物の気持ちを推量する問題です。

## 9 ほんたいのいみのことば ①

18 ~ 19 ページ

1 小さい 2 広い

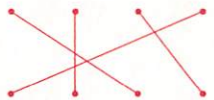
3 少ない 4 太い

2 強い 風。

2 あつい 日。 みじかい

3 遠い 国。 近い

4 長い ひも。 弱い



3 後ろ 2 上 3 右 4 女

4 1 おきる 2 まける 3 買う

### アドバイス

答え合わせをするときに、反対の意味の言葉を組み合わせて、「大小」「強弱」「売買」などの熟語もできるということを、発展的な学習として教えてもよいでしょう。

## 10 ほんたいのいみのことば ②

20 ~ 21 ページ

1 1 きる 2 はく

2 1 つめたい 2 さむい 3 うすい

3 1 さむい 2 つめたい

3 やすい 4 ひくい

4 1 エ・イ 2 ア・ウ

アドバイス

同じ言葉でも、使われ方で意味が異なるものがあるということを確認させてください。「あつい」は三つの反対の言葉をもちます。日常生活でも使い分けられるようにしましょう。

## 11 にたいいみのことば

22 ~ 23 ページ

1 1 こわい 話す

2 きれいだ かける

3 言う うつくしい

4 走る おそろしい



2 1 じょうずだ 2 しるす

3 とる

3 1 なくす 2 とじる 3 明るい

4 1 イ・エ 2 ウ・オ 3 ア・カ

### アドバイス

4 は、それぞれ順不同です。文脈に合った言葉の使い方と、言葉が持つ複数の意味を確認させるようにしましょう。

## 12 組み合わせたことば ①

24 ~ 25 ページ

1 1 色えんぴつ 2 虫かご 3 風車

4 青白い 5 大空

6 言い直す 7 書きおわる

2 1 長い十くつ 2 細い十長い

3 もつ十はこぶ

4 ふる十かえる 5 とぶ十出す

3 1 うける 2 おとす 3 とび回る

4 ながす

### アドバイス

2 は、元の形に直すところがポイントです。言葉の末尾の部分を変える、ということを示してあげるとよいでしょう。

### 13 組み合わせたことば② 26〜27ページ

- 1 とび下りる 2 つみかさねる
- 3 走りよる 4 とり出す
- 1 大きい通り 2 小さい石
- 3 親しい友(だち) 4 黒いまめ
- 5 長いそで
- 1 ひろう 2 のぼる
- 3 とりあう 4 からい
- 1 おもいにもつをもち上げる。
- 2 答えをもう一度見直す。
- 3 ぼうをふり回す。

#### アドバイス

- 2 は少し難しいので、まず、言葉を二つに分けるところから考えさせるようにしてください。
- 3 の( )は答えに含めてよい言葉です。
- 4 はそれぞれ一例をあげました。

### 14 たしかめ もんだい 28〜29ページ

- 1 ア売った イ行き ウ内(中)
- 2 大きい声(大きな声)
- 3 エながめた オかがやいて
- 1 はり紙・さがし回った
- 2 よぶ・止める
- 1 はじめる 2 かける
- 3 おいはらう

#### アドバイス

- 1 の①と③は、「売る」「ながめる」など元の形に直してもかまいません。
- 3 は、似た意味の言葉で言い換えることができていれば正解とします。
- 2 の①は、順不同です。

### 15 文の組み立て① 30〜31ページ

- 1 雨 2 車 3 さくら 4 タマ

- 1 くじらが およぐ。

- 2 鳥は 空を とぶ。

- 3 あれは ぼくの ノートだ。

- 4 ぞうの はなは 長い。

- 3 1 わたしが 2 弟が 3 ぼくは

- 4 おかあさんは 5 友だちが

- 4 1 ぼくは 2 おとうさんが

- 3 おばさんは 4 兄は

- 5 だれもが

#### アドバイス

主語を見分ける問題です。

- 2 の④は、「ぞうの」を入れると主語ではなく主部となります。

- 4 の⑤は、「だれもが」という言葉が主語です。具体的に誰とは分からなくても、これが文の主体になっています。

### 16 文の組み立て② 32〜33ページ

- 1 1 鳴く 2 ふる 3 かいた 4 すきだ

- 2 1 キツネが 子どもを そだてる。

- 2 きれいな 花が さく。

- 3 妹が ようち園に 入る。

- 4 赤ちゃんが すやすや ねむる。

- 3 1 丸い 2 つめたい 3 大きい

- 4 さわやかだ 5 きれいだ

- 4 1 くだものだ 2 こん虫だ

- 3 そうじがかりです

- 4 ぶ長だ 5 おばさんです

### アドバイス

述語を見分ける問題です。述語には、「どうする。どうした(動詞)」「どんなだ(形容詞・形容動詞)」「何だ(名詞+だ)」という三つが考えられます。

## 17 文の組み立て③

34〜35ページ

1 ① 大きな ぼうしが 風で とんだ。

② さるが するすると 木に のぼる。

③ きのうち、どうぶつ園は 休みだった。

④ ぼくの おじさんは けいさつかんだ。

2 ① 主語…馬が 述語…よこぎる

② 主語…すずめが

述語…うるさい

③ 主語…やさしい

述語…キヤベツだ

3 ① イ ② ウ ③ ア ④ イ ⑤ ア

⑥ ア ⑦ ア ⑧ ウ ⑨ イ

### アドバイス

文は、「何が(は)どうする」「何が(は)どんなだ」「何が(は)何だ」という三つに分類されます。

3 は、述語の部分で見分けさせるようにしてください。6 は、主語が「外は」ではなく「雪が」であることに注意させましょう。

## 18 くわしくするよとば

36〜37ページ

1 ① 赤い 夕日 が きれいだ。

② あまい アメ を なめる。

③ おとなしい 子ども が いる。

④ 川で、小さな 魚 が およぐ。

⑤ あたたかい おでん が ゆげを 立てる。

2 ① 大きな ② 白い ③ わたしの

④ なまあたたかい ⑤ 二つの

3 ① おばあさんは ゆっくり 話す。

② すずめが チュンチュン 鳴く。

③ 弟は もりもり 食べる。

④ ぞうが のしのし 歩く。

⑤ 犬が ぶるぶる ふるえる。

4 ① すいすい ② ぼかぼか

③ ずんずん ④ ドサツと

⑤ ゆらゆら

### アドバイス

修飾語を抜いています。修飾語は、主語、述語、時には別の修飾語を、くわしくすることを確認させるようにしてください。

## 19 たしかめ もんだい

38〜39ページ

1 ① ② ③

わたしは 二年生だ。一オ、下の 弟は 一年生になった。

わたしと 弟の へやは、わたしが 一年生のときから、べつべつだ。へやのカーテンは 白い。



4 (一オ 下の) 弟

5 (わたしと 弟の) へや

2 ① ② ③

きのは、雨が しどしど ふって いたにわに 生えた 大きな あじさいが めれて いる。きょうは、晴れて いるので、あじさいは 強い、たいようの 光を はねかえして、きれいだっだ。



4 (ぬれていて) 強い、たいようの 光を はねかえして いる ようす。

### アドバイス

1 ①の④⑤、②の④の( )は、答えに含めてよい言葉です。

1 は、まる( )で区切られた文を探し、主語と述語を確認させるようにしてください。

2 は、言葉を修飾しているものを探します。このときも、1と同様、文の主語・述語を押さえると、分かりやすくなります。

20

まる。( ) てん。( )

つかい方①

40〜41ページ

1 ねこが  えさを おいしそうに 食べる

2 魚が  すいすい およいで いる

3 家に つくと  父が 帰って いた

4 十時に なっても  ねむれなかった

2

あした  かぞくで ビクニックに 行きま  
す  だ。あしたは 天気が あまり よく  
ないそうなので しんばいです。

ビクニックする ところは  車で  
二時間 走った  ところに あって   
おとうさんと おかあさんが 行くのは  
二回目だそうです



3

1 ぼくの 姉は、えい語を ならって いる。  
2 さむかったので、コートを きた。

3 一か月後、りよこうで 海へ 行く。

4 がんばったのに、しっぱいして しまった。

4

休み時間に なった  ので、友だちに、

ドッジボールを しよう。

と  言った  すると、友だちが、

きょうは、本を 読もうよ。

と  言ったので、ふたりで



アドバイス

3 は、意味が一旦切れる部分に「**レ**」をつ  
けるようにさせてください。

21

まる。( ) てん。( )

つかい方②

42〜43ページ

1 アニコこでは、きものをぬぎなさせ

い。

イニコこで、はきものをぬぎなさせ

い。

2 アぼくは、ブラシを買う。

イぼく、はブラシを買う。

3 アわたしはわらいながら、にげ

る弟をおいかけた。

イわたしは、わらいながらにげ

る弟をおいかけた。

2

1 トラが、えものを おいかける。

2 雲が、もくもくと わいて きた。

3 それでも、もどる ことは できない。

4 絵を、かいて、本を 読んだ。

3


アドバイス

3 は、原稿用紙の正しい使い方にそって書  
かせるようにしてください。

22

文をつなぐことば①

44〜45ページ

1 1だから 2しかし 3さらに

4つまり 5ところで

6それとも

2 1でも 2それとも 3そこで

4そのうえ

3 1(そのうえ) はな水も出る。

2(だから) 先生にほめられた。

アドバイス

3 は一例です。絵に合う内容であればかま  
いません。2は「テストで百点をとった。」な  
どでもよいでしょう。

23

文をつなぐことば②

46〜47ページ

1 1はじめに 2つぎに

3おわりに

2 1まず 2それから 3さいごに

(右から) 1 2 ↓ 3 ↓ ↓

2 3 ↓ ↓ ↓ 2 3 2 ↓ 4 ↓ 3 ↓ ↓

### アドバイス

文章を分かりやすく伝えるために、「はじめに」「つぎに」「おわりに」などの言葉を使います。

## 24 いろいろな言い方

48〜49ページ

- ( )きのう、バレーボールをした。  
○( )きのう、バレーボールをする。
- ( )三時に おやつを 食べる。  
○( )三時に おやつを 食べた。
- ( )さっき、本を ニさつ 読む。  
○( )さっき、本を ニさつ 読んだ。
- ( )学校で テストが ある。  
○( )学校で テストが あります。
- ( )きのう、赤ちゃんが 生まれました。  
○( )きのう、赤ちゃんが 生まれた。

### 3 1 休みだそうだと 2 広いそうだと

### 4 1 あったからだと

### 2 日だからだと

### 3 たん生日だからだと

### アドバイス


4は、理由を示す言い方にはほかに、「ためです」「せいです」などもあります。

## 25 たしかめ もんだい

50〜51ページ

1

天気  よいので  ボチを  さんばに  つれて  いった  近じよを  歩いて  いると  知り合いの  おばさんが、  
 こんなちは、よい  天気ね。  
 と、声  を  かけて  くれた。  
 (ハ) 、おばさんは、ボチの名前  は  わすれて  いた。(イ) 、わたしの  ことを、ま  ちが  った  名前  で  よんだ。




### 2 アでも イそのうえ

- 1 あった
- 2 なれなかつた

### 3 きょう、うんどう会が ありました。 かけつ

こを  したが、 一番には  い  ね  ない。  
 おとうさんと  おかあさんが  おうえんに  来て  くれた、 おばあさんも  来たが  っ  て  いた  そう  だ。  
 (ハ) 、 家  に  帰  たら、  
 うんどう会  の  こと  を  た  く  さ  ん  話  して  あ  げ  よ  う  と  思  う。



### 4 だから

### アドバイス

2の3は伝聞の表現を扱っています。「そ  う  だ  」のほかに、「 と  い  う  こと  だ  」なども伝聞の表現に当たります。

## 26 かん字のなりたち

52〜53ページ

- 1 1 日 2 耳 3 馬 4 魚 5 鳥 6 門

- 2 1 三 2 一 3 下 4 本

- 3 1 休 2 岩 3 晴

### アドバイス

漢字には、「象形文字」「指事文字」「会意文字」「形声文字」があります。漢字の意味は、その漢字の成り立ちから推し量ることができ、ということをお話してあげてください。

## 27 同じぶ分をもつかん字

54〜55ページ

- 1 1 少 2 多 3 休

- 2 1 ア絵 2 イ紙 3 ア話 4 イ記

- 3 1 ア家 2 イ室 3 ア黒 4 イ魚

- 4 1 ア雨 2 イ雪 3 ウ雲

- 5 1 学校の  ある  万角の  空が  黒い。

- 2 手  目  自を  こ  す  る  と  赤  く  な  る。

- 3 牛  後  に  な  っ  て、 母  と  内  や  に  行  っ

- 4 親  しい  ノ  ー  ト  を  白  円  で  買  う。

### アドバイス

同じ部分をもつ漢字は、書き間違えやすい漢字でもあります。漢字をその意味とともに覚えていくか、確認させるようにしてください。

## 28 組み合わせてなりたつかん字 56〜57ページ

1 ①計 2 体 3 思

2 ①鳴 ②雪 ③星 ④妹

3 ①池 ②行 ③国 ④室

4 ①ア細 イ絵 ウ紙

2 ア鳴 イ台 ウ古

### アドバイス

漢字を、へんとつくりなどに分解する問題です。部首に発展していく学習になります。

4 のウは、「ロ」の中に「十」を入れて「田」とすることもできます。

## 29 同じ読み方のかん字 ① 58〜59ページ

1 ①会 ②園 ③当 ④交

2 ①ア正 イ生 ②ア天 イ点

3 ア元 イ原 ④ア合 イ会

3 ①ア兄 イ教 ウ京

2 ア自 イ時 ウ字

4 ①みんなと 何会も およく。

2 兄が 校<sup>公</sup>園の ベンチに いる。

3 魚やおじさんは いつも原<sup>元</sup>気だ。

4 もえるような 赤い 夕火<sup>日</sup>。

### アドバイス

2 の4 は、「合う」と「会う」の使い分けです。「合<sup>あ</sup>う」は一致する、「会<sup>あ</sup>う」は人と会うという意味で、「会<sup>あ</sup>う」の反対の意味の言葉は「別れる」になることを確認させてください。

## 30 同じ読み方のかん字 ② 60〜61ページ

1 ①科 ②頭 ③線 ④汽

2 ①ア少 イ小 ②ア聞 イ分

3 アエ イ公 ④ア下 イ火

1 ア野 イ夜 ②ア池 イ地

3 ア親 イ新 ④ア明 イ空

4 ①海に 言<sup>行</sup>って、回<sup>貝</sup>がらを ひろった。

②小<sup>少</sup>年は 強い 日工<sup>光</sup>を あびた。

③町の 中親<sup>心</sup>に 公遠<sup>園</sup>がある。

④テストの 答え<sup>合</sup>合わせを して、さい天<sup>点</sup>する。

### アドバイス

語句や文の内容に合った漢字を使うことを確認させてください。

## 31 おくりがな 62〜63ページ

1 ①走る ②食べる ③歌う

2 ①教える ②少ない

3 ①明ける ④晴れる

3 ①答える ②近い ③数える

4 ④通る ⑤帰る ⑥新しい

4 太い・分かれて・遠く・明るく

### アドバイス

2 の①「教<sup>お</sup>える」の「教」の字は、「教<sup>お</sup>わる」という読みもちます。このように同じ字でも送り仮名によって使い方が変わってくることを確認させるようにしてください。

3 の⑤「かえる」は、他に「変える」(四年生で学習)、「代える」(三年生で学習)などがあります。

## 32 たしかめ もんだい ⑤ 64〜65ページ

1 ①弓 ②羽

2 ①ア聞 イ門 ②ア読 イ話

3 ①海 ②雲

